



06



# 礼拜

BASE Is Biblical And Solid Essentials  
WORSHIP

*Introduction*

# 序論



“

礼拝は  
靈的成熟と  
関連している。

-Alfred P.Gibbs

信仰年数は  
礼拝の成熟度と  
関係する

主がお望みの  
礼拝者へと  
整えられたい

# AG DN DA

01

02

03

04

05

**パン裂き礼拝重視の理由**

**パン裂き礼拝の意味**

**願いと贊美と礼拝の区別**

**群れの礼拝について**

**神がお求めの礼拝者の姿**

*Chapter 1*

# パン裂き札拝 重視の理由

*Section 1-1*

# 教会史から パン裂き札拝を 考える

ブラザレン

Brethren

*Section 1-2*

# 聖餐式の考え方

# パン裂き礼拝

## The Bread Breaking



聖餐式

Communion



ミサ

Mass



# 聖体變化

## Eucharist Change



# 聖体拜領

## Holy Communion



*Section 1-3*

# 聖職者制度の出現



A.D.392

# ローマ カトリック の 階層組織

教皇

Pope

枢機卿

Cardinals

大司教

Arch Bishops

司教

Bishops

司祭

Priests

助祭

Deacons

一般信徒

The Laity

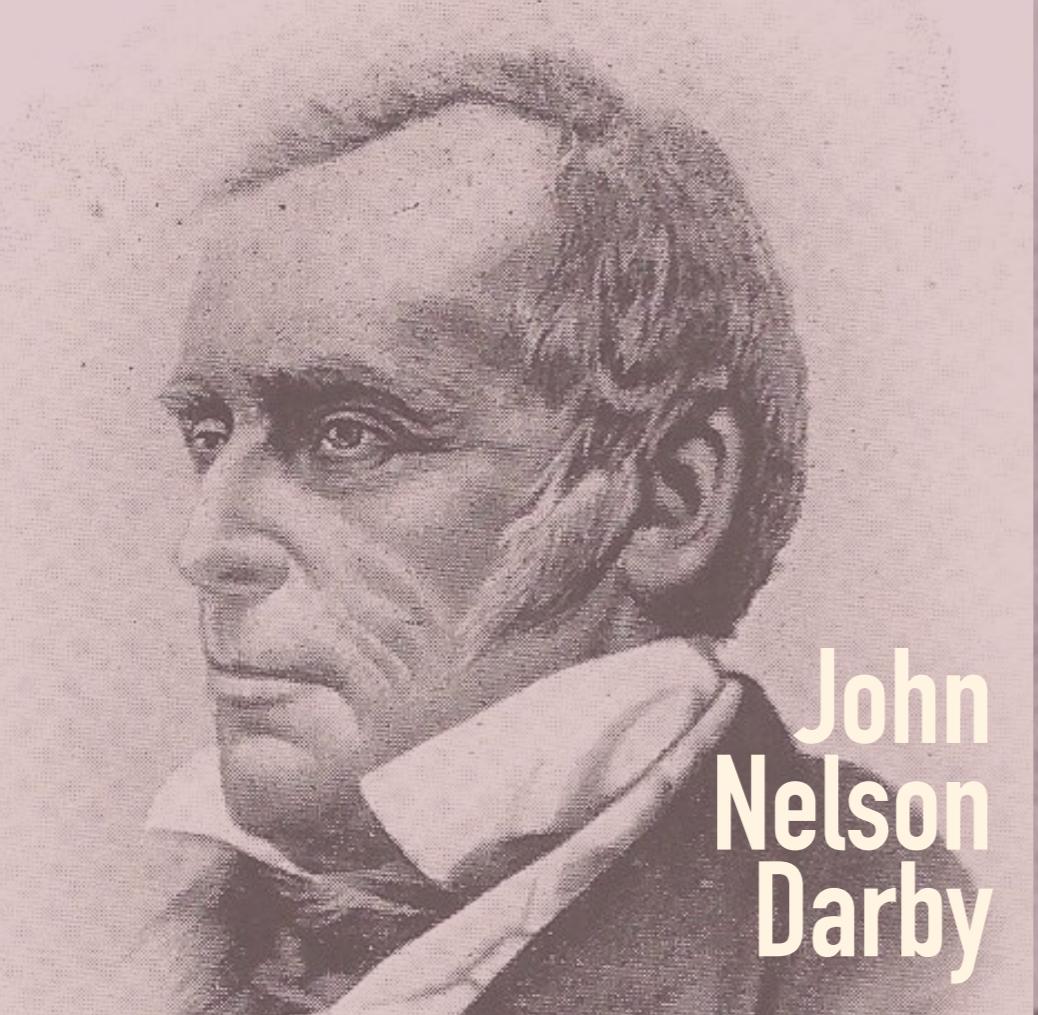
# 告解

## Confession

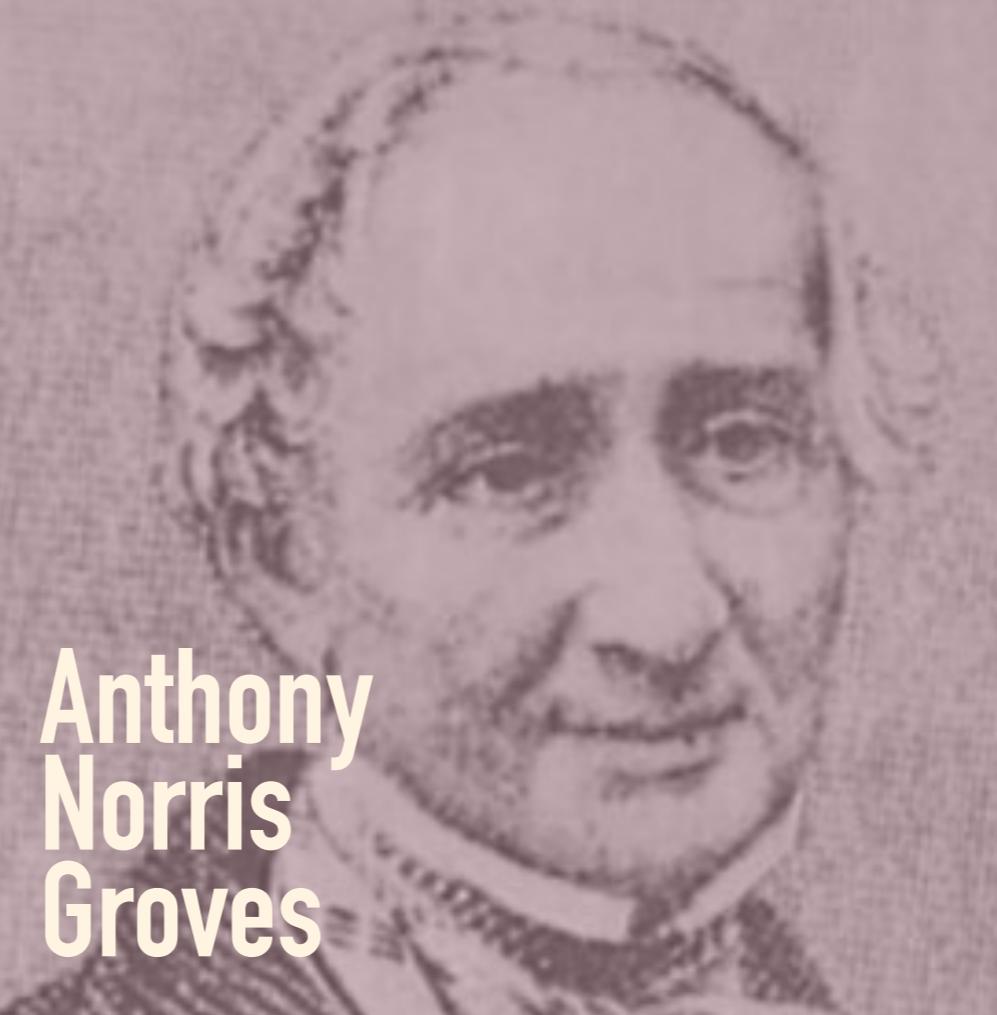


*Section 1-4*

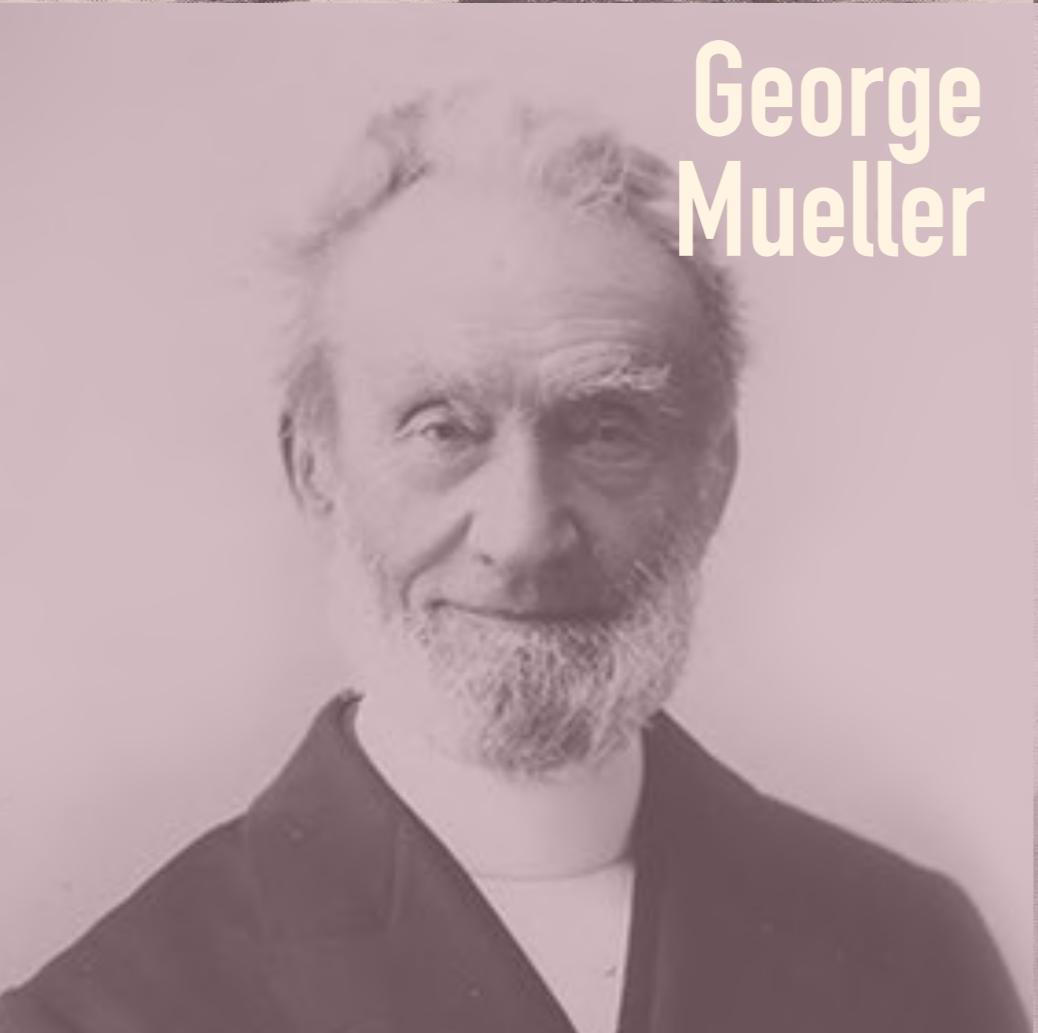
# 聖職者制度からの脱却



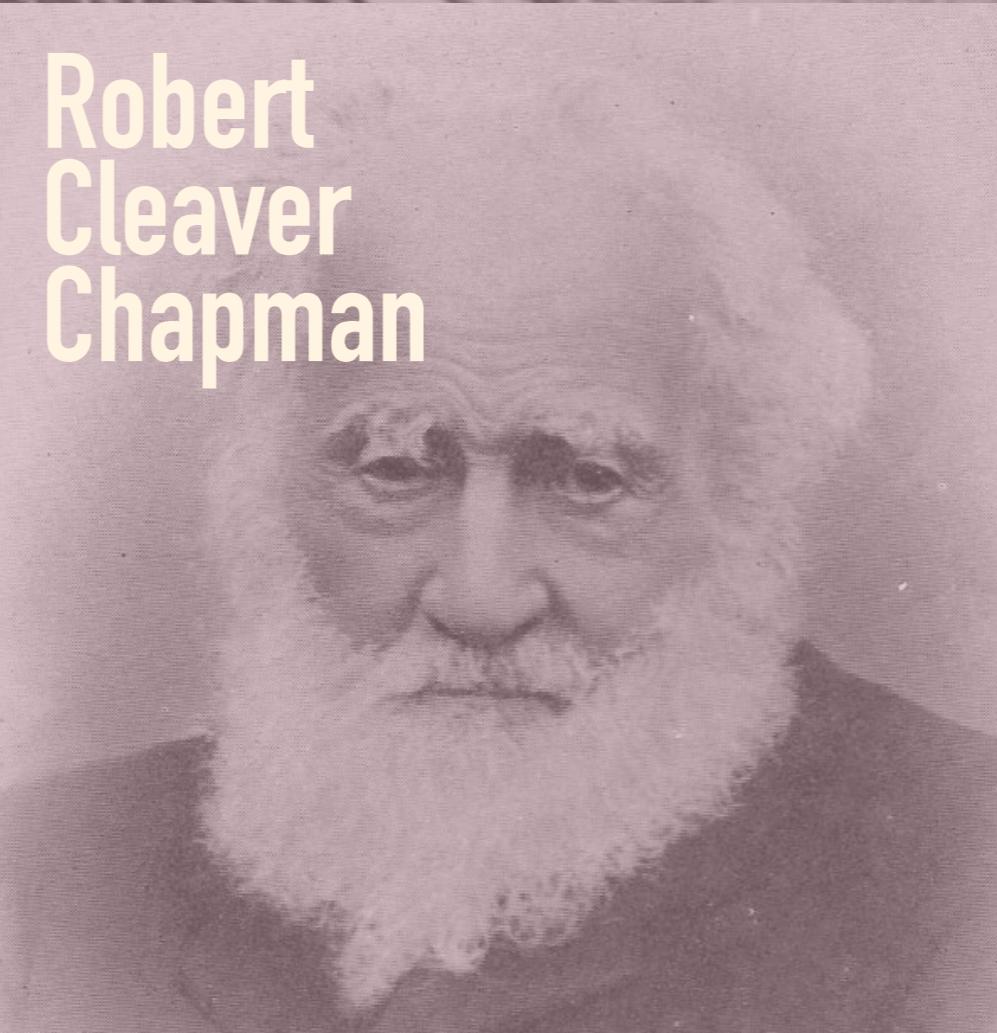
John  
Nelson  
Darby



Anthony  
Norris  
Groves



George  
Mueller



Robert  
Cleaver  
Chapman

A.D.  
**1827**

キリストによって  
神とつながる

Connect With God Through Christ

*Section 1-5*

# ブラザレンの特徴

パンは一つですから、  
私たちは大勢いても、  
一つのからだです。  
皆がともに  
一つのパンを  
食べるのですから。

1コリント 10:17

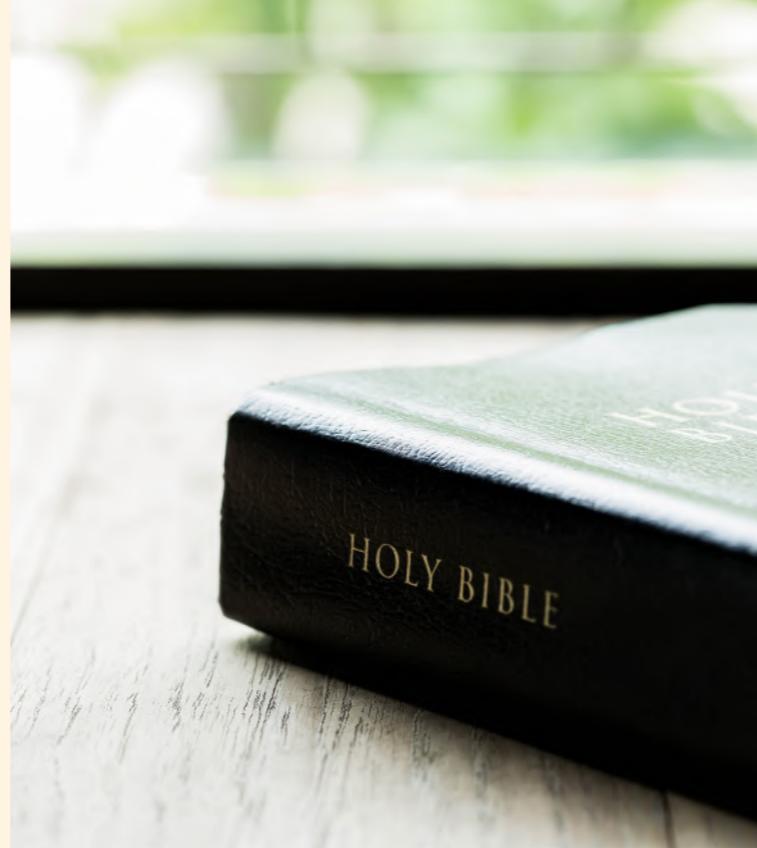


—

One

# 信仰義認

Justification Of Faith

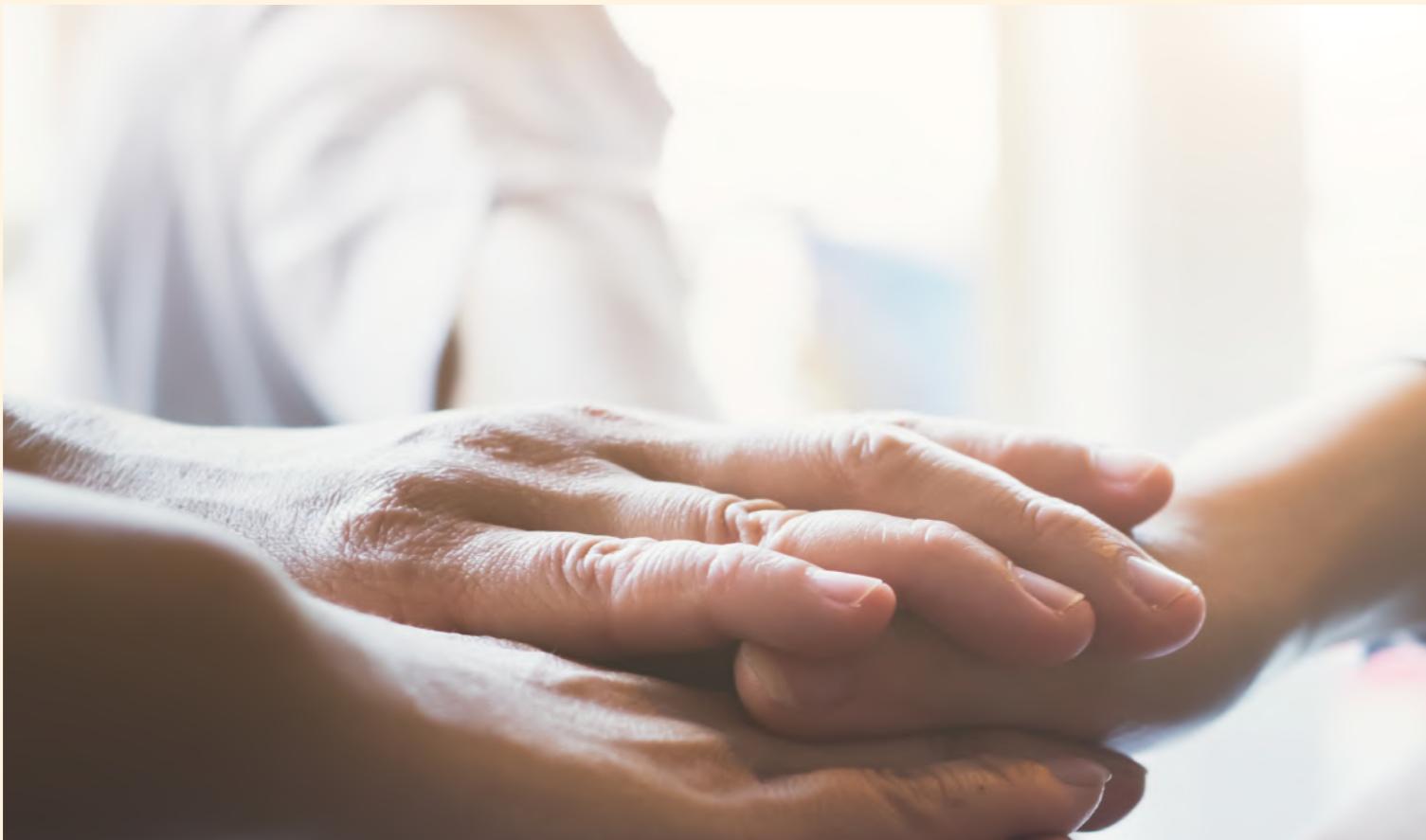


# 權威は 聖書だけ

Bible Only

# 全信徒 祭司

All Believer Priest



兄弟

Brotherhood

調和

Harmony

*Section 1-5*

# 第1章のまとめ

パン裂き札拝を  
考えるために  
教会史を  
考える必要がある

パンと  
ぶどう酒は  
キリストを表す  
象徴

聖職者制度の  
出現による  
靈的暗黒時代が  
あった

諸集会の始まりは  
聖職者制度からの  
脱却だった

パン裂き札拌は  
兄弟姉妹が  
何の差別もなく  
一つであることの  
告白

*Chapter 2*

# パン裂き札の 意味

*Section 2-1*

# パン裂き札拌の ルーツ

私は主から受けたことを、  
あなたがたに伝えました。  
すなわち、  
主イエスは渡される夜、  
パンを取り、  
感謝の祈りをささげた後それを裂き、  
こう言われました。  
「これはあなたがたのための、  
わたしのからだです。  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」

食事の後、  
同じように杯を取って言われました。  
「この杯は、  
わたしの血による新しい契約です。  
飲むたびに、  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」

ルーツは  
主が実施した  
過越の食事

Roots: Passover meals conducted by the Lord

イエスは彼らに言われた。  
「わたしは、  
苦しみを受ける前に、  
あなたがたと一緒に  
この過越の食事をすることを、  
切に願っていました。」

ルカ 22:15

[ルカ22:15]

切に  
願って  
いました

[文語訳]

望みに  
望みたり

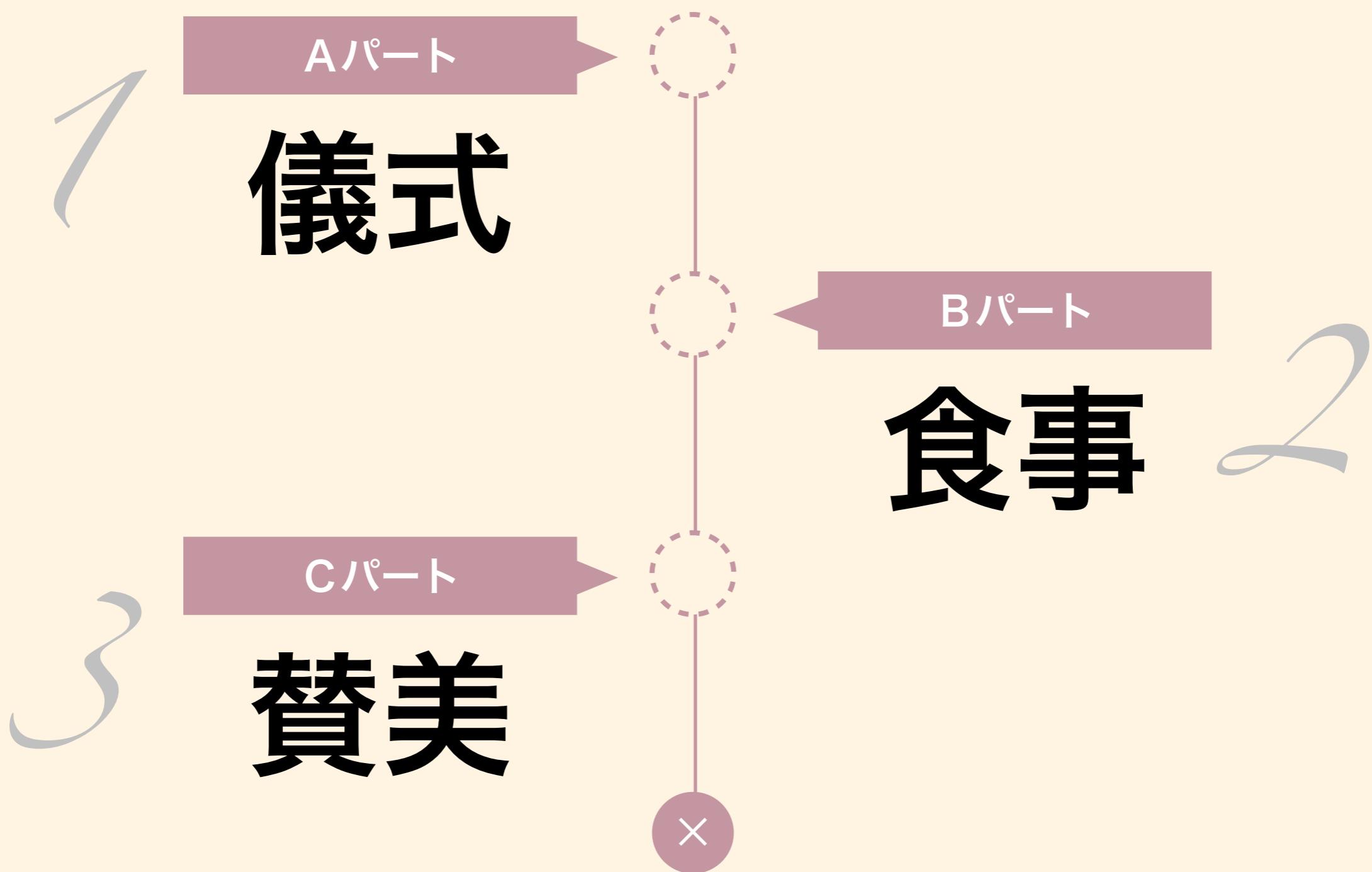
[KJV]

With desire  
I have desired

*Section 2-2*

# 過越の食事の手順

# 逾越の食事 PESACH



# A 儀式



燭台の蝋燭に火を灯す

1

# A 儀式



第一の杯 「感謝の杯」 (ルカ22:14-17)

2

そしてイエスは杯を取り、  
感謝の祈りをささげてから言われた。

「これを取り、  
互いの間で分けて飲みなさい。」  
(中略)

それからパンを取り、  
感謝の祈りをささげた後これを裂き、  
弟子たちに与えて言われた。

「これは、  
あなたがたのために与えられる、  
わたしのからだです。  
わたしを覚えて、  
これを行いなさい。」  
食事の後、  
杯も同じようにして  
言われた。

ルカ 22:17-20

# A 儀式



手を洗うきよめの儀式（ヨハ13:4-5）



# A 儀式



第二の杯 「裁きの杯」

# A 儀式



カルパスの儀式（マタ26:23）

イエスは答えられた。  
「わたしと一緒に  
手を鉢に浸した者が  
わたしを裏切れます。」

マタイ 26:23

# A儀式



アフィコーメンの儀式

# A儀式



三つに仕切られた袋のそれぞれの  
スペースに種なしパンを入れる

6

# A 儀式



袋の真ん中のパンを取り出す

6

# A 儀式



取り出したパンを家長が二つに裂く

6

# A儀式



二つに裂かれたパンの半分を  
亞麻布にくるんで隠す

# A 儀式



ハロセットとマロールを食べる  
(ヨハ13:26-30)



イエスは答えられた。  
「わたしがパン切れを  
浸して与える者が、  
その人です。」  
それからイエスは  
パン切れを浸して取り、  
イスカリオテのシモンの子ユダに  
与えられた。

ユダはパン切れを受けると、  
すぐにして行った。  
時は夜であった。

ヨハネ 13:30

# B

# 食事



メインコースを食べて家族団欒



# 食事



食事の締めにアフィコーメンを食べる



# B 食事



亞麻布に包まれ隠されていたパンが  
人前に明らかにされる

9

これはわたしの  
からだです

マタイ 26:26



# 食事



発見されたパンが更に裂かれ  
参加者全員に振る舞われる

9

# B 食事



第三の杯 「贖いの杯」

16

これはわたしの  
契約の血です

マタイ 26:28

見よ、その時代が来る  
——主のことば——。  
そのとき、  
わたしはイスラエルの家および  
ユダの家と、新しい契約を結ぶ。  
これらの日の後に、  
わたしがイスラエルの家と  
結ぶ契約はこうである  
——主のことば——。  
わたしは、  
わたしの律法を彼らのただ中に置き、  
彼らの心にこれを書き記す。

わたしの靈を  
あなたがたのうちに授けて、  
わたしの掟に従って歩み、  
わたしの定めを  
守り行うようにする。

エゼキエル 36:27

それを、神は私たちに  
御靈によって啓示してくださいました。  
御靈はすべてのことを、  
神の深みさえも探られるからです。

---

1コリント 2:10-12

---

人間のことは、  
その人のうちにある人間の靈のほかに、  
いったいだれが知っているでしょう。  
同じように、神のことは、  
神の靈のほかにはだれも知りません。  
しかし私たちは、  
この世の靈を受けたのではなく、  
神からの靈を受けました。  
それで私たちは、  
神が私たちに恵みとして  
与えてくださったものを  
知るのです。

# 賛美



第四の杯「賛美の杯」（マタ26:30）

14

# 贊美



最後の挨拶

13

イスラエルの全会衆に  
次のように告げよ。  
この月の十日に、  
それぞれが一族ごとに羊を、  
すなわち家ごとに  
羊を用意しなさい。

出エジプト 12:3

本質がないと  
形骸化する

If there is no essence, it will form

*Section 2-3*

# 第2章のまとめ

パン裂き札拝の  
ルーツは  
ユダヤ文化における  
過越の食事

パンは  
主の  
復活のからだを  
表す

杯は  
新しい契約のための  
血を表す

パン裂き札拌は  
主のいのちに  
あふれた  
喜びの集会

*Chapter 3*

# 願いと賛美と 礼拝の区別

*Section 3-1*

**願いとは**

心が「必要」に  
向かうこと

The mind goes to "need"

*Section 3-2*

# 贊美とは

心が「祝福」に  
向かうこと

The mind heads for “blessing”

*Section 3-3*

# 礼拝とは

心が「神」に  
向かうこと

The mind heads for "God"

*Section 3-4*

# 第3章のまとめ

礼拝とは  
主に感動した思いを  
主にお伝えする  
自発的なもの

*Chapter 4*

# 群れの礼拝 について

*Section 4-1*

**成熟した  
群れの礼拝とは**

また、歌い手であるレビ人全員、  
(中略)

亞麻布を身にまとい、  
シンバル、琴および豎琴を手にして  
祭壇の東側に立ち、  
百二十人の祭司たちも  
彼らとともにラッパを吹き鳴らしていた。  
ラッパを吹き鳴らす者たち、  
歌い手たちが、  
まるで一人のように  
一致して歌声を響かせ、

主を賛美し、ほめたたえた。  
そして、ラッパとシンバルと  
様々な楽器を奏でて声をあげ、  
「主はまことにいつくしみ深い。  
その恵みはとこしえまで」  
と主に向かって賛美した。  
そのとき、雲がその宮、  
すなわち主の宮に満ちた。  
祭司たちは、その雲のために、  
立って仕えることができなかつた。  
主の栄光が  
神の宮に満ちたからである。



*Section 4-2*

**兄弟は  
礼拝のために  
準備する**

**礼拝は具体的に**

**Worship is concrete**

**行動原理は愛**

**The principle of action is love**

それでは、  
どうすればよいのでしょうか。  
私は靈で祈り、  
知性でも祈りましょう。  
靈で賛美し、  
知性でも賛美しましょう。

そうでないと、  
あなたが靈において贊美しても、  
初心者の席に着いている人は、  
あなたの感謝について、  
どうしてアーメンと言えるでしょう。  
あなたが言っていることが  
分からぬのですから。  
あなたが感謝するのはけっこうですが、  
そのことでほかの人が  
育てられるわけではありません。

*Section 4-3*

**姉妹も  
礼拝のために  
準備する**

神は心の声を  
聞いておられる

God is listening to the voice of my heart

*Section 4-4*

# 第4章のまとめ

成熟した  
群れの礼拝には  
調和がある

聞く人に  
配慮して礼拝する

群れの礼拝が  
豊かになるためには  
兄弟姉妹各人の  
準備が必要

*Chapter 5*

# 神がお求めの 礼拝者の姿

*Section 5-1*

**神がれ挙者を  
求めておられる**

しかし、  
まことの礼拝者たちが、  
御靈と真理によって  
父を礼拝する時が来ます。  
今がその時です。  
父はそのような人たちを、  
ご自分を礼拝する者として  
求めておられるのです。



すべてはあなたから出たのであり、  
私たちは御手から出たものを  
献げたにすぎません。

*Section 5-2*

# 神がお求めの 礼拝者とは



私たちの先祖は  
この山で礼拝しましたが、  
あなたがたは、  
礼拝すべき場所はエルサレムにある  
と言っています。」  
イエスは彼女に言われた。  
「女人よ、  
わたしを信じなさい。  
この山でもなく、  
エルサレムでもないところで、  
あなたがたが父を礼拝する時が来ます。  
(中略)

しかし、まことの礼拝者たちが、  
御靈と真理によって  
父を礼拝する時が来ます。  
今がその時です。  
父はそのような人たちを、  
ご自分を礼拝する者として  
求めておられるのです。

ヨハネ 4:20-21,23



すると、  
主は彼に言われた。  
「なるほど、  
あなたがたパリサイ人は、  
杯や皿の外側はきよめるが、  
その内側は強欲と邪悪で  
満ちています。」



**共通のいのち**

**Common life**

**共通のことば**

**Common language**

*Section 5-3*

**礼拝は礼拝者を  
祝福する**

いちじくの木は花を咲かせず、  
ぶどうの木には実りがなく、  
オリーブの木も実がなく、  
畠は食物を生み出さない。  
羊は困いから絶え、  
牛は牛舎にいなくなる。









しかし、  
私は主にあって喜び躍り、  
わが救いの神にあって楽しもう。  
私の主、神は、私の力。  
私の足を雌鹿のようにし、  
私に高い所を歩ませる。

ハバクク 3:18-19

*Section 5-4*

# 第5章のまとめ

**御靈と真理によって  
礼拝する**

礼拝者は  
神を喜ぶ喜びの中に  
入っていくことが  
できる

*Whole Summary*

# 全体まとめ

*Summary Of Introduction*

# 序論のまとめ

礼拝は  
靈的成長度合いと  
関係がある

*Chapter 1 Summary*

# 第1章 パン裂き札拝 重視の理由 のまとめ

パン裂き札拌は  
兄弟姉妹が  
差別なく一つ  
という告白

*Chapter 2 Summary*

# 第2章 パン裂き札拌の意味 のまとめ

パン裂き札拝は  
いのちの躍動がある  
喜びの集会

*Chapter 3 Summary*

# 第3章 願いと賛美と 礼拝の区別 のまとめ

**礼拝は  
自発的なもの**

*Chapter 4 Summary*

# 第4章 群れの礼拝について のまとめ

群れの礼拝の  
豊かさは  
各人の準備に  
かかっている

*Chapter 5 Summary*

# 第5章 神がお求めの 礼拝者の姿 のまとめ

神がれし拝者との  
交わりを  
求めておられる

**EOF**

- 参考資料

A・P・ギブス『礼拝 クリスチャンの最高の任務』伝道出版社、1960年

『主の晩餐 パン裂き』牧草社、1998年

J. Boyd Nicholson 『See the Difference (between the Lord's Supper and the Lord's Table)』 UPLook Articles、2004年

ルース・スペクター・ラセール『ユダヤの祭り』岐阜純福音出版会、1997年

- 改版履歴

---

2016年7月 初版

2018年6月 改版

2019年8月 改版

2019年9月 改版

2019年12月 改版

2020年1月 改版

2020年2月 改版

2020年9月 改版

---